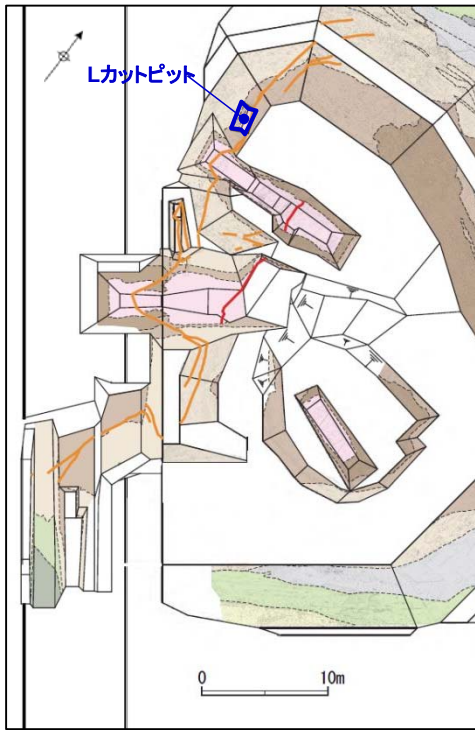


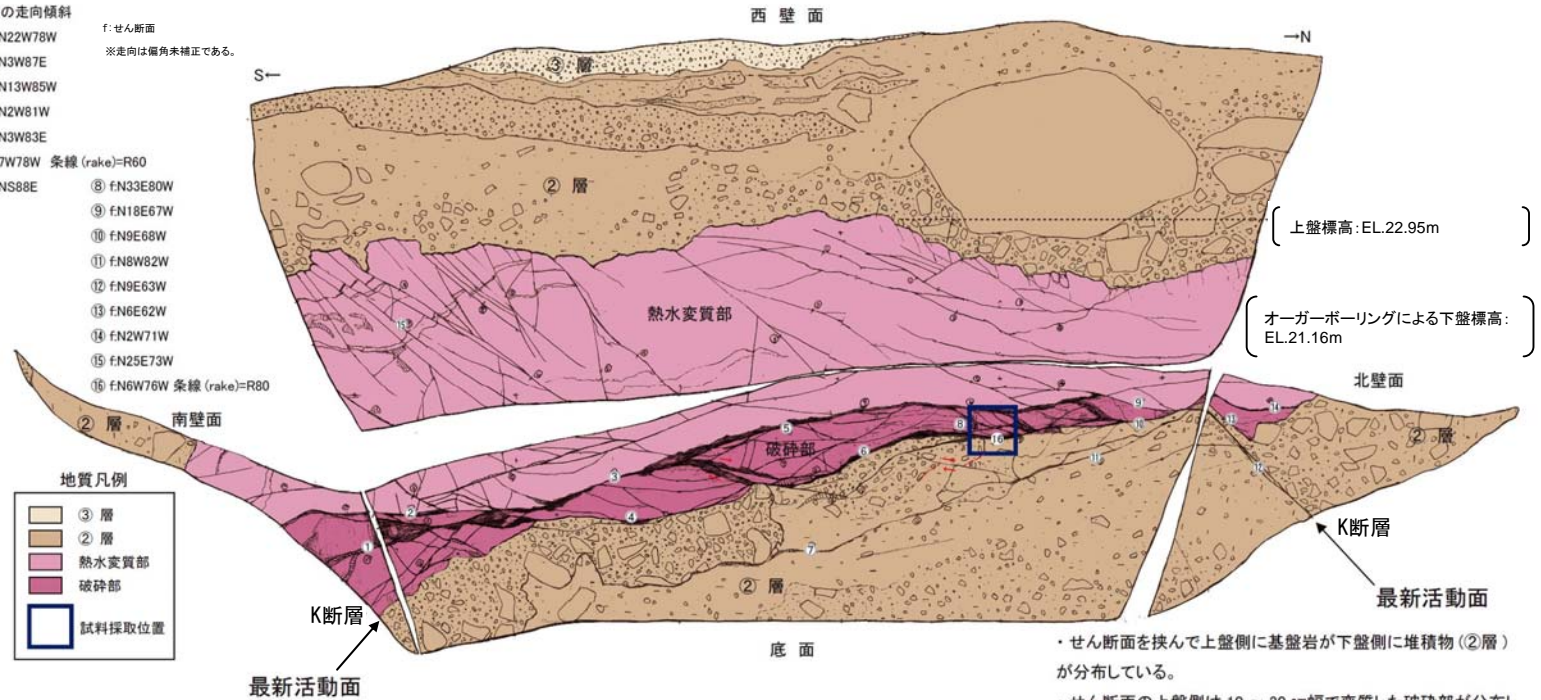
D-1トレンチLカットピット(K断層) スケッチ

H25.7.11報告書を一部修正

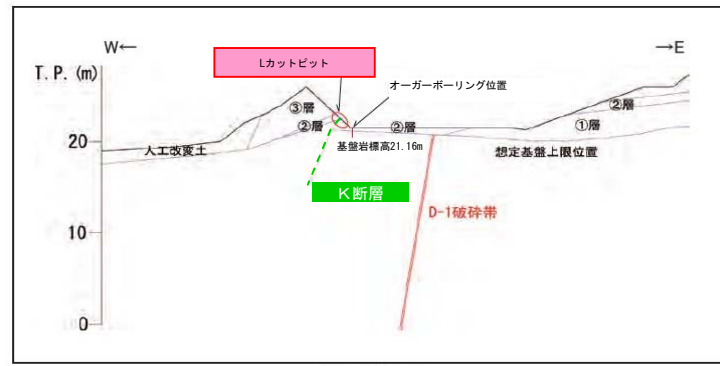
147



- 断層の走向傾斜
- ① fN22W78W
 - ② fN3W87E
 - ③ fN13W85W
 - ④ fN2W81W
 - ⑤ fN3W83E
 - ⑥ f.7W78W 糸線 (rake)=R60
 - ⑦ fNS88E
 - ⑧ fN33E80W
 - ⑨ fN18E67W
 - ⑩ fN9E68W
 - ⑪ fN8W82W
 - ⑫ fN9E63W
 - ⑬ fN6E62W
 - ⑭ fN2W71W
 - ⑮ fN25E73W
 - ⑯ fN6W76W 糸線 (rake)=R80
- f: せん断面
※走向は偏角未修正である。

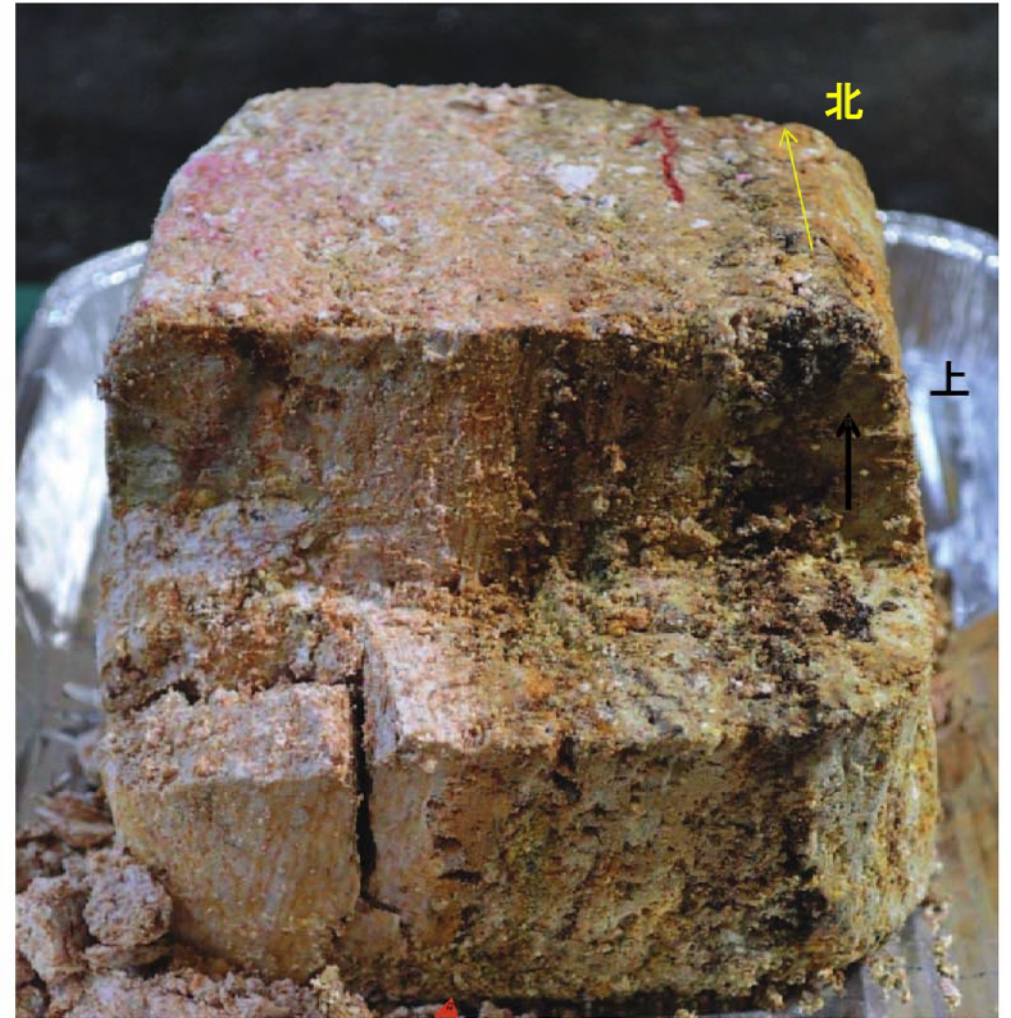


上盤標高: EL.22.95m
オーガーボーリングによる下盤標高: EL.21.16m

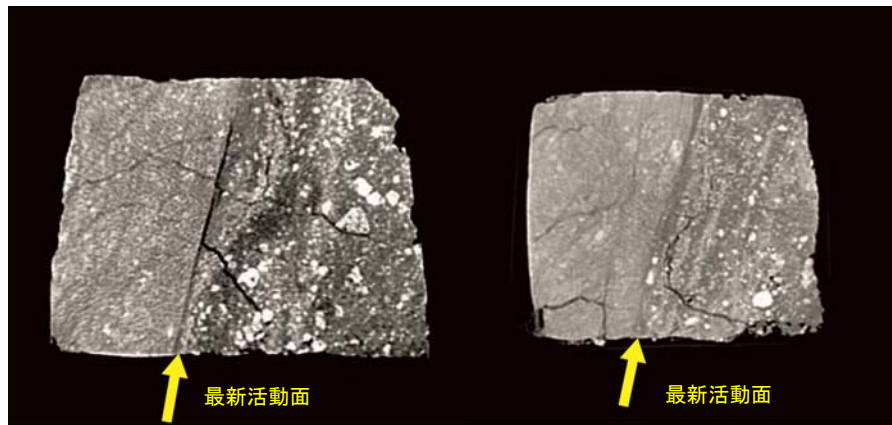


- ・せん断面を挟んで上盤側に基盤岩が下盤側に堆積物(②層)が分布している。
- ・せん断面の上盤側は10～30cm幅で変質した破碎部が分布し、堆積物(②層)中には基盤との境界面に沿って破碎・せん断構造が発達している。全体をせん断する直線的な断層ガウジは認められない。変位量が数cm程度のR1面がせん断面を細かく右ずれさせている。
- ・破碎部および堆積物(②層)中に認められるR1面から右ずれが判読される。
- ・上盤側の基盤上限面と下盤側近傍のオーガーボーリングから求めた基盤の食い違い量は1.79mである。

・K断層は、風化花崗斑岩と②層とを境している。
 ・なお、オーガーボーリングによる基盤岩の比高は、見かけ約1.8mであるが、K断層の鉛直変位量を表すものではない。

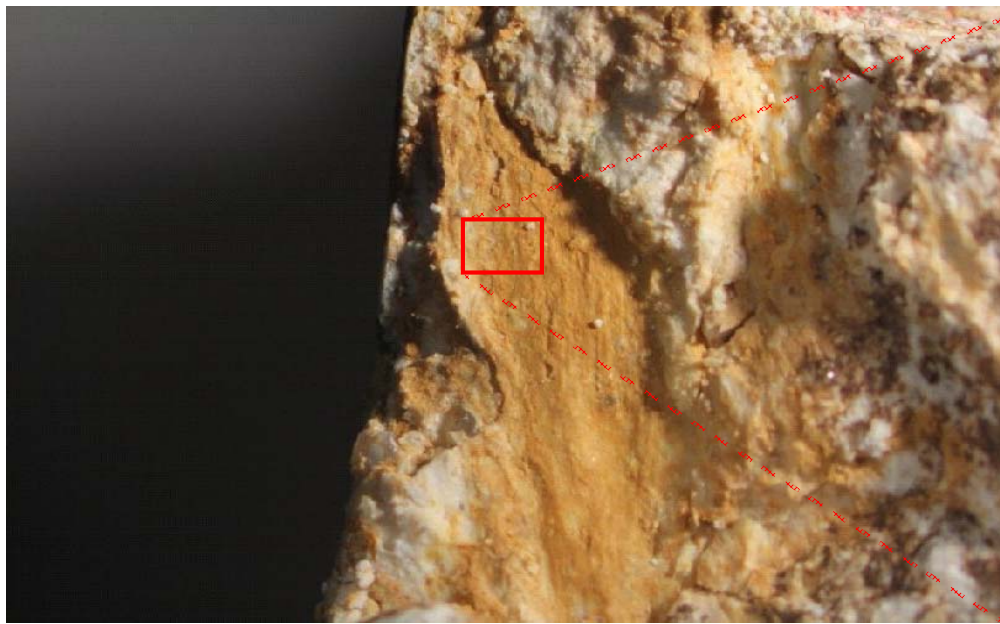
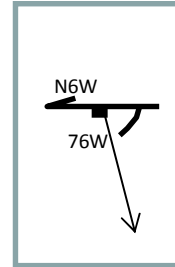
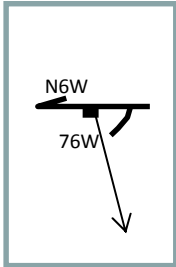


最新活動面N6° W76° W



他の変形構造を切る連続性の良い断層面が観察された。 0 50(mm)

D-1トレンチLカットピット(K断層) ブロックサンプル



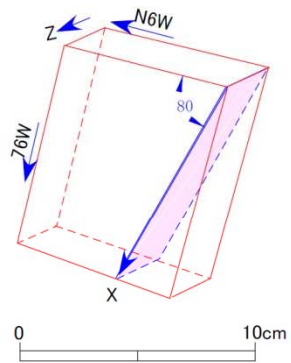
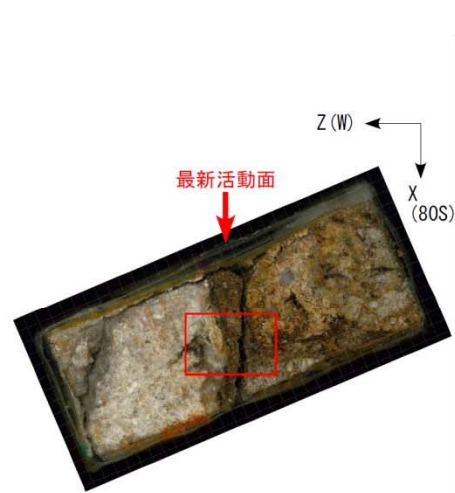
150

- ・Lカットピット K断層 西から東下盤最新面を見る。
- ・主断層面上に高角度の条線が観察される。

- ・Lカットピット K断層 西から東下盤最新面を見る。
- ・主断層面上に高角度の条線, 凹凸が観察される。

D-1トレンチLカットピット(K断層) 薄片試料観察(条線方向)

151

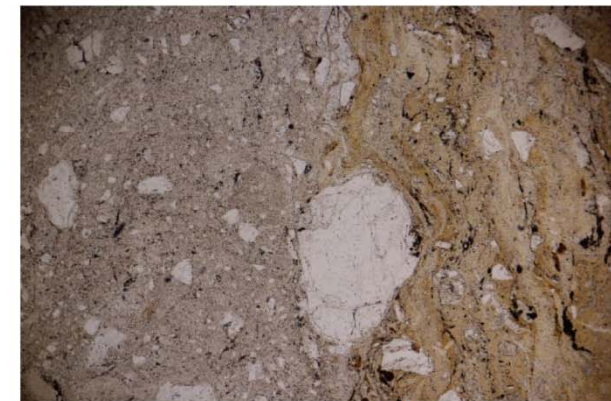


単ニコル



直交ニコル

赤枠内の拡大



単ニコル



直交ニコル

- ・カタクレーサイト
灰色を呈する細粒の基質及び径0.01mm~3mmの垂円~垂角礫状の石英、長石、カタクレーサイトのフラグメントからなる。粘土鉱物をやや含む。R1面及びP面から逆断層かつ右ずれの変位センスが判読される。
- ・堆積物片と混合した断層ガウジ1 (最新活動面)
褐灰色を呈する細粒の基質及び径0.01mm~3mmの角~垂角礫状の石英、斜長石、カリ長石、黒雲母、カタクレーサイトのフラグメントからなる。フラグメントは新鮮で角張っており堆積物起源である。粘土鉱物を多く含む。R1面及びP面から逆断層かつ右ずれの変位センスが判読される。
- ・堆積物片と混合した断層ガウジ2
灰色を呈する細粒の基質及び径0.01mm~2mmの垂角礫状の石英、斜長石、カリ長石、黒雲母、カタクレーサイトのフラグメントからなる。フラグメントは新鮮で角張っており堆積物起源である。粘土鉱物を多く含む。P面から逆断層かつ右ずれの変位センスが判読される。